



～感染者数が増えています～

会食の時は、感染リスクを避けながら！

11月以降、本県をはじめ、全国的に感染者の増加傾向が見られています。飲酒を伴う会食においてクラスタの発生が多く見られていることから、国では「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめました。感染リスクを下げる工夫をしながら、冬をしっかりと乗り越えましょう。

▶問い合わせ先＝新型コロナウイルス感染症対策室(☎内線350)

利用客やお店の皆さんに気を付けてほしいこと

■利用者の皆さんへ

- ◎飲酒をする時は、
 - ①少人数・短時間で。
 - ②なるべく普段一緒にいる人と。
 - ③深夜・はしご酒などは控え、適度な酒量で。
- ◎箸やコップは使い回さず、一人一人です。
- ◎座席の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避けましょう）。
 - ※食事の際、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例があります。
- ◎会話する時はなるべくマスクを着用して（フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ効果が弱いことに注意が必要です）。
- ◎換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店を利用する。
- ◎体調が悪い人は参加しない。



■お店の皆さんへ

- ◎お店はガイドラインの遵守を（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も）。
- ◎利用者にガイドラインの遵守や、接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードを働き掛ける。
- ※従業員から感染者が確認された国内のある飲食店では、窓を開けるなどの換気や、客同士の間隔も一定以上開けるなどガイドラインを守っていたため、利用客(100人以上)からの感染者は出ませんでした。



飲酒の場面も含め

全ての場面で守ってほしいこと

- 基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- 集まりは、少人数・短時間にして。
- 大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。